

演題名：新型コロナウイルス感染症：米国と世界の状況、変異ウイルスと今後の展望

演者： 峰 宗太郎

米国国立研究機関 博士研究員

抄録：

新型コロナウイルス SARS-CoV-2 による感染症 COVID-19 は世界的な大流行が続いています。パンデミックの状態は2年以上にわたっていますが、流行当初とは異なり、私たち人類は予防策を知り、有効なワクチンを手にし、さらに様々な治療薬も使用が可能となってきています。しかしながら一方で、2021年からは変異ウイルスが世界各国で出現し、ウイルス側の性質の変化によっても流行状況が大きく変わることを経験してきています。

日本ではデルタ変異体系統を主体とする第5波が収まった後、しばらく流行が抑制されていましたが2022年1月にはオミクロン変異体系統を主体とする第6波がはじまっています。世界に目を向けてみますと、流行状況は国によって様々であるものの、一向に収まる気配がないともいえ、各国でその対策に苦慮しています。

本演題においては、新型コロナウイルスの変異の概要と、世界の流行状況、そして今後の展望を概説したいと思います。